

2027年3月期 第1四半期

決算説明資料

KPPグループホールディングス株式会社

東証プライム 証券コード：9274

2026年8月12日



KPPグループホールディングス株式会社
KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD.

01 2027年3月期 第1四半期決算概要 p.2

02 2027年3月期 業績予想に対する進捗..... p.8

01

2027年3月期 第1四半期決算概要

- ✓ 各地域セグメントで販売価格の改定を実施
- ✓ 事業ポートフォリオ転換でビジュアルコミュニケーション事業・パッケージング事業が伸長し、為替影響も加わり売上高・売上総利益は増加
- ✓ 人件費、物流費の高騰など販売費及び一般管理費の増加により営業利益は減少するも、EBITDAは増加
- ✓ 営業外収益増加により経常利益は増加
- ✓ 一過性の事業構造改善費用計上により当期純利益は減益

(単位:百万円)	2026年3月期 1Q累計実績	2027年3月期 1Q 累計実績	前年同期比	
売上高	159,324	170,705	+11,381	+7.1%
売上総利益	30,911	35,235	+4,324	+14.0%
販売費及び一般管理費	29,204	33,643	+4,439	+15.2%
営業利益	1,707	1,591	△116	△6.8%
経常利益	949	1,568	+619	+65.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,289	1,012	△277	△21.5%
EBITDA ※	4,982	6,370	1,388	+27.9%

為替レート(期中平均レート)
27年3月期1Q
EUR=183.53
豪ドル=109.41
26年3月期1Q
EUR=159.34円
豪ドル=94.35円

※ EBITDA…経常利益+減価償却費+のれん償却費+支払利息等

- ✓ 北東アジア:紙事業では数量は減少ながら、板紙事業、化成品事業は需要増加及び値上げの効果もあり、販管費は増加したものの増収、増益。
- ✓ 欧州／米州:M&A効果もありビジュアルコミュニケーション事業が好調。紙、パッケージング事業は為替の影響もあり増収。一方で人件費・燃料費高騰による物流費の増加等でセグメント利益は減少。
- ✓ アジアパシフィック:パッケージング、ビジュアルコミュニケーション事業ともに成長したが、人件費・燃料費高騰による物流費の増加等でセグメント利益は微減。

(単位:百万円)		2026年3月期 1Q累計実績	2027年3月期 1Q 累計実績	前年同期比	
北東アジア	売上高 (セグメント間売上を含む)	72,846	73,511	+665	+0.9%
	セグメント利益	647	655	+8	+1.2%
欧州／米州	売上高 (セグメント間売上を含む)	71,218	80,276	+9,058	+12.7%
	セグメント利益	529	203	△326	△61.6%
アジアパシフィック	売上高 (セグメント間売上を含む)	15,384	17,510	+2,126	+13.8%
	セグメント利益	514	496	△18	△3.5%
不動産賃貸	売上高 (セグメント間売上を含む)	494	498	+4	+0.8%
	セグメント利益	160	415	+255	+159.4%
合計	売上高 (セグメント間売上控除後)	159,324	170,705	+11,381	+7.1%
	営業利益 (全社費用等調整後)	1,707	1,591	△116	△6.8%

※ 全社費用等…主に報告セグメントに帰属しない本社の
管理部門における一般管理費

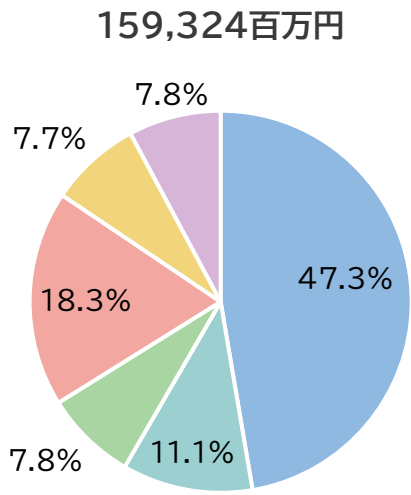
- ✓ 事業ポートフォリオの転換が進展し、利益率の高いパッケージング、ビジュアルコミュニケーション事業の構成比が増加。
- ✓ 売上総利益ではパッケージング、ビジュアルコミュニケーション事業の構成比が紙事業を超える。

売上高					売上総利益			
(百万円)	2026年3月期 第1四半期実績	構成比	2027年3月期 第1四半期実績	構成比	2026年3月期 第1四半期実績	構成比	2027年3月期 第1四半期実績	構成比
紙	75,392	47.3%	75,476	44.2%	13,458	43.5%	14,323	40.6%
板紙	17,615	11.1%	19,895	11.7%	999	3.2%	1,127	3.2%
パルプ・古紙	12,360	7.8%	10,198	6.0%	1,268	4.1%	1,146	3.3%
パッケージング	29,148	18.3%	33,872	19.8%	9,783	31.6%	11,296	32.1%
ビジュアルコミュニケーション	12,338	7.7%	17,247	10.1%	3,762	12.2%	5,408	15.3%
化成品・その他	12,471	7.8%	14,017	8.2%	1,641	5.3%	1,935	5.5%
合計	159,324	100.0%	170,705	100.0%	30,911	100.0%	35,235	100.0%

※ 管理会計上の概算数値 ※ 不動産賃貸セグメントの数字はその他に含む

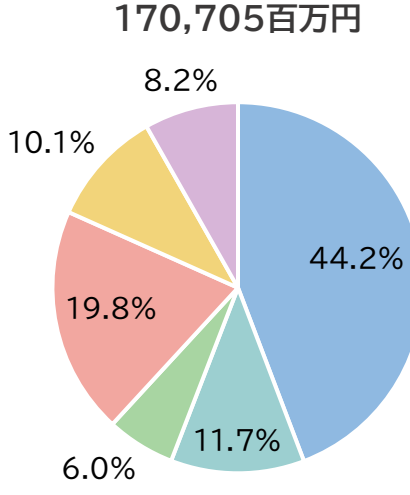
2026年3月期
第1四半期

売上高

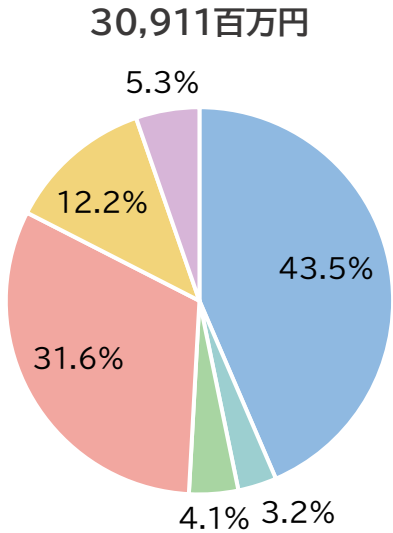


2027年3月期
第1四半期

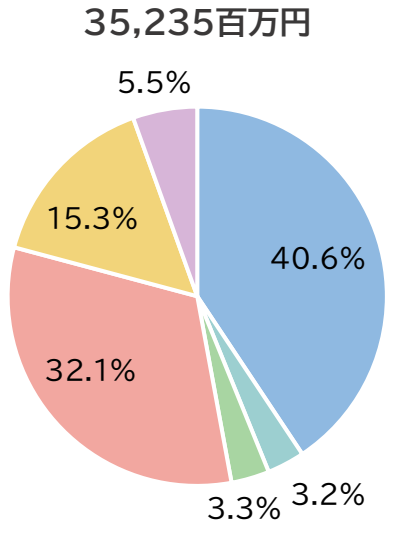
売上高



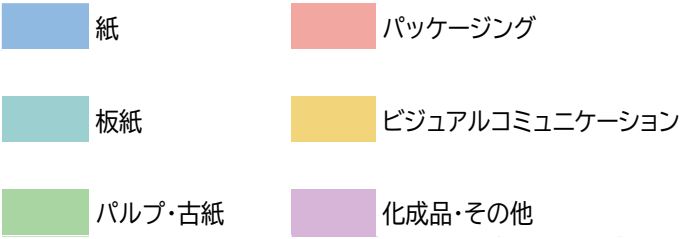
売上総利益



売上総利益



※ 管理会計上の概算数値
不動産賃貸セグメントの数字はその他に含む



✓北東アジア

- ・ 紙：グラフィック用紙需要の減少が継続し、売上高・売上総利益ともに減少
- ・ 板紙：パッケージングやトレーディングカードの需要が大きく、売上高・売上総利益ともに増加
- ・ パルプ・古紙：販売数量が弱含みに推移したため、売上高・売上総利益ともに減少
- ・ 化成品：食品包装用のプラスチックフィルムの前倒し需要に加え、原油・ナフサ価格上昇にともなう販売価格改定により売上高・売上総利益ともに増加

✓欧州・米州

- ・ ビジュアルコミュニケーション：注力事業としてM&Aを実行し、売上高・売上総利益ともに増加
- ・ パッケージング：新規顧客の獲得、中東情勢を受けた販売価格改定、為替の影響により、売上高・売上総利益ともに増加
- ・ 紙：販売数量は減少したものの為替の影響により、売上高・売上総利益ともに増加

✓アジアパシフィック

- ・ パッケージング：前期グループに加わったABL Distributionの業績寄与および小売向け包装資材の販売伸長により、売上高・売上総利益ともに増加
- ・ ビジュアルコミュニケーション：堅調なメディア販売に加え、為替の影響もあり売上高・売上総利益ともに増加
- ・ 紙：豪州における需要低迷により、販売数量が減少し、売上高・売上総利益ともに減少

02

2027年3月期 業績予想に対する進捗

- ✓ 当社業績は顧客の需要期の季節性により、販売・利益とも下期に偏重する傾向があり、業績予想はこの前提で策定
- ✓ 営業利益の進捗率は人件費や物流費等販管費の増加により14.5%、当期純利益は一過性の事業構造改善費用の計上により20.2%となったが、上記理由もあり概ね計画通りに推移
- ✓ 第2四半期以降は、価格改定効果の浸透およびM&Aで傘下に加わった各社の業績寄与を見込む

(単位:百万円)	2027年3月期 業績予想	2027年3月期 1Q 累計実績	進捗率
売上高	710,000	170,705	24.0%
営業利益	11,000	1,591	14.5%
経常利益	6,500	1,568	24.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,000	1,012	20.2%

想定為替レート(業績予想)
EUR=180.00円
豪ドル=99.00円

(参考):1円感応度
売上高:約25億円
営業利益:約0.5億円

✓自己株式の取得枠拡大

株主価値向上への取り組みをさらに強化すべく、取得し得る株式の総数および株式の取得価額の総額を拡大

取得株式数(上限): 3百万株 → 6百万株

取得金額(上限): 3,600百万円 → 7,200百万円

取得期間: 2026年7月1日~2026年11月30日 → 2026年7月1日~2027年3月31日

✓政策保有株式の売却額目標変更

資本効率のさらなる向上および資本コストを意識した経営を推進するため

2028年3月期までの売却目標額: 50億円 → 70億円

✓自己株式の消却

3百万株(消却前の発行済株式総数に対する割合4.46%)を2026年8月31日に消却予定

✓株主還元強化を目的とした株主優待制度の拡充

図書カードの金額: 1,000円

株主優待基準日: 3月末日 → 9月末日、3月末日

贈呈回数: 年1回 → 年2回



紙でつなぐ、未来をつくる

Paper Innovation for a Connected Future